

# インフォメーションディスプレイ Vol.42



交通媒体本部 媒体開発部  
部長

山本 孝 様

## 株式会社 ジェイアール東日本企画 様

1988年創業以来、交通広告の広告代理店としてすっかり定着した株式会社ジェイアール東日本企画様。駅、車内をはじめ、さまざまな媒体を扱われるなか、3年前からインフォメーションディスプレイを導入。今回、システムを変え、JRご利用者により深く認知されるシステムに改良されるなど、新たなビジョンを確立されています。



所在地：東京都渋谷区恵比寿

## 駅構内で活躍する インフォメーションディスプレイ。 新しい媒体に、期待がふくらみます。

### 導入台数

JR東京駅 PN-G655R 21台	JR五反田駅 PN-G655R 2台
JR品川駅 PN-G655R 8台	JR横浜駅 PN-S525 5台
JR秋葉原駅 PN-G655R 8台	

デジタル技術とネットワークを用いた広告媒体として、3年前から導入されていたインフォメーションディスプレイが、このたびシステムをリニューアル。新たなコミュニケーションメディアとしてスタートを切りました。『JR新宿駅・渋谷駅では、これまで動画配信を行ってききましたが、駅というロケーションの特性上、ご覧いただくのは歩いておられる方が圧倒的に多いわけです。そこで、今回設置の5駅では移動するお客さまがより見やすいようにという配慮から静止画のロールオーバー方式に変更しました。』とおっしゃいます。

2008年夏から東京・品川・秋葉原・五反田・横浜のJR各駅構内では、いずれも柱に縦型(65型または52型)を配置。1広告主あたり15秒から60秒をベースとして、複数の広告枠を設定して放映しています。また『静止画にすることでデータを軽くでき、配信もより簡単な携帯電話の通信網を使ったローコストモデルに移行できました。』と、配信する側にとって新たな成果であったことを強調されています。



JR東京駅の65型。1支柱2画面構成で、計21画面で乗降客にアピール。

## 導入時の評価ポイント

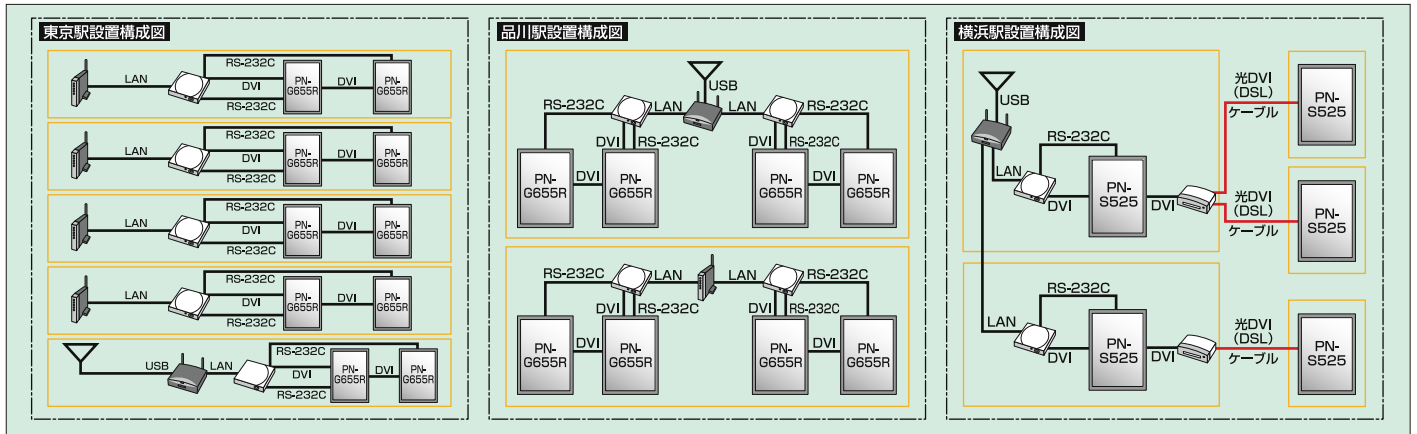
■ 細かな文字までくっきり。画像表示もなめらかな  
フルスペックハイビジョン

■ ロケーションに合わせ、大きさを選べる  
幅広いサイズバリエーション

■ 映り込みが少なく、歩きながらでも見やすい  
ASV 低反射ブラック TFT 液晶

■ ポスターの表示にも適した  
縦置き設置可能なディスプレイ

## ■ システム概略図



## 導入の経緯

## 映り込みを抑えた静止画は 鮮明で美しく、アイキャッチ効果は予想以上です。

3年前、JR 新宿駅・渋谷駅に導入する際、駅という設置ロケーションから、こだわったのが大きさ。当時、液晶 65 型のインフォメーションディスプレイといえばシャープしかなく、デジタル画像の特性をフルに活かせる大画面という点で導入を決定されました。今では、サイズも豊富になり、設置場所のスペースにもっとも適した 1 台を選べるようになりました。

りました。加えて、『細かな文字や緻密な線画まで、はっきり見やすいという液晶ディスプレイの特性は、静止画では非常に大きなポイントを占めます。』と、広告媒体としての使い勝手の良さを実感されています。今回の設置スペースでは、歩きながらディスプレイを眺めますので、細かく書き込まれたコンテンツの場合でも読みやすく、よりアピールしやすくなりました。

## 導入後の感想

## “液晶”に対し予想以上に好反応。 定期クライアントも増加傾向です。

実験的に導入された当初から、『色がデリケート、文字も細かいところまで見える』と、我々が見積っていた以上にインフォメーションディスプレイの評価は高いですね。』というご感想をお持ちです。設置させていただく JR のご担当の方からも、『今度デジタルを導入するようだね。駅が新しいイメージになるから楽しみだよ。』という声をよく聞くようになりました。広

告主の皆様へも、既存の駅貼りポスターや車内中吊り、トレインチャンネル（動画配信）などと連動した企画をご提案できるので、広告ビジネス上も間口を広げられ、着実に実績を重ねていらっしゃいます。従来の紙ポスターに比べ効率的で、タイムリーな表示ができるため、商品アイテムが豊富な食品メーカー、出版社などからの引き合いが多いようです。

## 今後の展開予定

## 配信拠点を増やすとともに、 コンテンツをさらにブラッシュアップ。

現在、首都圏で JR 新宿、渋谷、東京、品川、秋葉原、五反田、横浜の各駅に設置していますが、『2009 年度内に首都圏の主要駅に順次、設置していく予定です。ゆくゆくはローカル駅での設置も視野に入れていきます。』とおっしゃいます。さらに時間配分などコンテンツも、より人の目を引きつけるための試行錯誤が続く

ものと予測されています。まず、静止画プラスアルファの要素として、動画の活用を含むアイキャッチの手法を検討しています。デジタル技術を使ったサイネージがこれだけ広がるなか、さまざまな角度で進化することが考えられますが、『より媒体価値の高い場所、より魅力的なコンテンツをご提案できれば、自ずと多くの広告主の皆



JR品川駅



JR秋葉原駅

65 型を 1 支柱 (4 画面) × 2 で計 8 画面。四方の乗降客に効率よく静止画 CM を放映しています。



JR横浜駅

改札内から駅構内へ出る真正面に設置。インパクトある場所を選びました。



JR五反田駅

様にご活用いただけるものと信じています。』と将来に向け、大きな期待を寄せておられます。駅貼りポスターやサインボードなどと共存しながら進化を続けるインフォメーションディスプレイ。デジタル配信ならではのメリットを十分に活かしながら、広告媒体として確かなポジションを占めています。

● お問い合わせは **シャープ株式会社**

ビジネスソリューション事業本部

電話: (03)3260-8217 / (0743)55-6373

2009年8月現在